

みどりみらい ふたたび ぐんじとしのりから皆様へ

2011/03/19 Vol.2

西の原 2-3-6-104 TEL/FAX 45-8362

E-MAIL ID / toshigunji@hotmail.com

「なぜ、再び市議なんですか？」

前回、紙面を配布した後に多くの方々から、このご質問をいただきました。

この紙面で皆様に、私の考えをお伝えしたいと思います。

私は、現状の国政、地方行政に大きな不満を持っています。国民の声、地域の声はなかなか行政に届かず、対応は後手後手になっている。また、将来のビジョンを描けなくなっている。

そして、私たちが生活していく上での行政からの情報は一方通行で、「私が知りたいことは私自身が動かないと情報も取れず、その情報さえも充分でなく満足できない現状」があり、ストレスが溜まっています。

議会は十分に機能しているのか？議員は十分に働いてきたのでしょうか？

4年前の公約に対して、十分な成果は出しているのでしょうか？

現在、印西市議会では、任期中最後の定例議会、2月定例議会が開会されていますが、過去16回の定例議会で議員はしっかり議案に向き合い、毎回一般質問を行い、その結果を都度、市民に報告してきたのでしょうか？

私は最低でも年に4回の定例議会後には議会報告を行い、市民に印西市は何を考え、議会は定例議会で何を行なったのか？活動を身近にすべきだと考えていますが、現在の43名もいる市議会議員のなかで毎回議会報告を行ない、市民に活動を報告してきたのは私が知る限り、わずか3名しかいません。(選挙前だけ紙面を出して、「活動しているふり」をするのは得意なようですが。)

そもそも、4年16回開催した定例市議会で1回も「一般質問」をしないというのは論外(1名)で、議案に対する質問もしない(知識がなく、勉強もせずに質問できない?)議員が多数います。一印西市役所のホームページから印西市議会のページより、議事録検索が可能なので、議員ごとに過去に遡って、誰がどのような質問を何回行っているかを簡単に調べられます。(私の名前も過去に遡って表示されます。)

勿論、質問の内容についても、誰もが簡単に聞けば、調べればわかるといったものではなく、

① 事前に現場を調査し ② 他の市町村と比べ ③ 財政を考え改善策を提案 すると
いった質問ができる議員は数名のみです。

議会への不満。再び市議に出ようか？理由の一つです。

私が市議会議員、県議会議員を務めていた際には欠席はゼロでした。当然だと思っています。現在の印西市議43名はいかがでしょうか？欠席することなく、遅刻、早退することなく、真摯に議会に向き合ってきたのでしょうか？(今回の2月定例議会で一般質問の途中で、自分の順番が終わったからと他の議員の話も聞かずに退席した議員がいます。その理由を市民にしっかりと説明すべきです。そもそも、本議会をほったらかしにするほど、大事な用件とは何でしょうか。議員であれば、本会議への出席は義務です。)

統一選挙が近くなり、駅頭での朝のご挨拶が始まっていますが、朝のご挨拶を行うことで4年間の評価が決まる？ 今後は期待できる？ みなさまはどう思われますか？

前回の紙面を配布したあと、「なぜ、再び市議なんですか？」のほかにも「応援します。」「がんばって欲しい」の他にも「引退したら？」等などの声が寄せられました。

多くの方から、昨年末頃から「市議に出ないか？」御意見や御要望をお聞きするなかで、政治の世界から少し遠ざかっていた私は全く何の準備もなく、ためらいがあります。

前回の県議選挙で下野した私は、政治の世界からしばらく遠ざかろうと考えていました。

しかし、再び会社員に復職し、毎日東京へ通勤していく中でも、「国政選挙」の際には「手伝って欲しい」との要望が多く候補者からあり、そのたびに私自身の名前を「元県議会議員」としてお貸しし、多くの市民の方々に私自身が推薦していますと「公選はがき」をお送りして、政治の世界から完全に離れることはできませんでした。

(その際には各位にお世話になりました。ありがとうございました。)

それでも、まだ会社員の生活とささやかな地域活動のみで、議員として、政治の世界に当分戻ることはないだろうと、つい最近まで考えていました。

2009年10月 デンマーク コペンハーゲン

北極圏 グリーンランドでの仕事を終えて、東京への帰途につく私は、この街で休日を過ごしました。デンマークは北欧に位置し、北欧は高福祉高負担の国々であることを日本人は知り、その中でもデンマークは憧れの国でもあると聞きます。(「世界の幸福度ランキング」で常に上位に国名が列記されます。)そして、またデンマークの国民は高負担けれども、セーフティネットが張り巡らせたこの国での暮らしに満足していると日本人は知っています。

コペンハーゲンの休日は楽しみにしていました。マスコミで伝えられる姿は本当なのだろうか？しかし、休日の街から垣間見える街の姿は、「あれっ？」と思うようなことが多かったのが事実です。

物価の高さには閉口しました。サンドイッチが日本円で¥500、250mlの水が¥200。消費税が25%。その代わりに社会保障が充実している、はずですが。。街にはアル中のおじさん達が勢いる。ホームレスもいる。夜、裏通りに迷いこめば、あちこちで声をかけてくる娼婦達。どれもデンマークの中心「コペンハーゲン中央駅」の半径500メートル内での光景です。

現場に行ってみなければ、わからないことがある。「百聞は一見にしかず。」見て聞いて触って、五感を研ぎ澄まさなければ、わからないことがある。実体験に基づいたものが、文書を読みかじった羅列した言葉よりも重みがある。改めて、この国で思い知りました。

2011年2月 千葉県印西市

「次の選挙には出ない。みんなに言っているんだ。」私を市議会議員にと強く推してくれた一人の先輩議員が引退をします。印西市のことをあまり知らずに議員になった私にさまざまなことを教えてくれ、共に会派を組み、この街の将来図を描いてきました。その議員は、松本隆志議員(4期)。

見て聞いて触って、現場に足を運び、他の市の事例を調べ、印西市の規模に当てはめて考える。2009年コペンハーゲンでの出来事は、議員の基本を思い起こさせました。そして松本議員の引退が私の背中を再び押して、政治の世界に戻すのだろうか？思い悩んでいます。北総鉄道の問題、病院の誘致、一度政治に関わってきた者の責任として、旧本埜村、旧印旛村を加え、広くなった私の知らない新生印西市を知り、市議として、政治の世界での4年間のブランクを埋めてみようかと考えています。

ぐんじとしのり
(元 印西市市議会議員 前 千葉県議会議員 (印西市選挙区))